

授業科目(ナンバリング)		保健体育科教育法Ⅳ (QB309)		担当教員 担当形態		宮良 俊行・元嶋菜美香・※田井 健太郎 複数・オムニバス				
教員免許状取得のための選択の別	保健体育(中・高)：必修		単位数	2単位	開講年次	3年	展開方法	講義	開設時期	後期
科 目	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)									
各科目に含める が必要な事項	各教科の指導法									
授業のねらい									アクティブ ラーニング の 類 型	
学校教育における保健体育科の位置づけを理解した上で、学習指導要領における保健分野の学習内容、学習指導に関する基本的事項を理解し、教育現場における学習指導計画の作成や学習指導および学習評価等の基礎的知識を身に付ける。									⑨⑩	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法			評価比率	
専門力	保健体育科教員として教育に対する使命感や情熱を持ち、常に学び、成長しようとする姿勢が身に付いている。					・受講者の授業態度、授業への参加度			10%	
情報収集、分析力										
コミュニケーション力	板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付け、実践することができる。					・受講者の発表			10%	
協働・課題解決力	保健体育科教員として必要な専門知識を理解し、それらがなぜ重要なかを説明することができる。					・授業内テスト ・定期試験			50% 30%	
多様性理解力										
出 席 合 計						受験要件 100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
授業中の態度および参加度(評価比率10%)、発表等授業への積極的な取り組み(評価比率10%)、授業内テスト(評価比率50%)、定期試験(評価比率30%)により、総合的に評価する。また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。										
授 業 の 概 要										
<p>&lt;保健分野&gt;</p> <p>中学・高校生にとって優れた授業をつくるための条件と授業研究の方法について学習する。保健体育科教育法Ⅱで学んだことをさらに深めるため、模擬授業形式で学生の発表の機会を毎回もうけ、そこから問題提起のきっかけをつかんでいく方法をとる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>										
教 科 書 ・ 参 考 書										
<p>教科書：「保健体育科教育法」杉山重利、高橋健夫、園山和夫編著(大修館書店)</p> <p>教科書：「最新 スポーツルール」大修館書店編集部編(大修館書店)</p> <p>教科書：「教員採用試験 ステップアップ問題集 中学高校保健体育」東京アカデミー編</p> <p>指定図書：文部科学省『中学校学習指導要領』、文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、 文部科学省『高等学校学習指導要領』、文部科学省『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』</p>										
授業外における学修及び学生に期待すること										
<p>授業資料、学習指導要領、学習指導要領解説をもとに、授業実践への想像力をはたらかせて聴講すること。学習指導要領、学習指導要領解説についてはよく理解しておくこと。</p> <p>授業外の時間に教材研究を行い、授業前日までに指導案を提出すること。日ごろから保健体育科の専門知識、教育全般に関する時事問題に興味を持ち、知識を蓄積すること。</p> <p>学校教員就職を強く希望する学生に参加して欲しい。よって、中途半端な気持ちで授業に出席しないこと。無断欠席、遅刻などは原則認めない。教員志望学生としての自覚を持ち、集中して聴講すること。</p>										

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	保健授業の今日的課題 1	授業オリエンテーション、現代社会における保健分野の教育に対する期待など（宮良、元嶋）	予習：中学校の教科書における保健分野を一読する。 復習：授業内容の振り返り。
2	保健授業の今日的課題 2	学校教育が担うべき保健分野の学力形成など（宮良、元嶋）	予習：高校の教科書における保健分野を一読する。 復習：授業内容の振り返り。
3	魅力ある保健の授業像 1	授業が成立するという事など（宮良）	予習：保健分野に関する新聞記事および資料を見つけてくる。 復習：授業内容の振り返り。
4	魅力ある保健の授業像 2	楽しくてわかる保健授業の探求（宮良）	予習：教材として保健に関する資料を見つけてくる。 復習：保健分野の教材研究をする。
5	保健授業の教育内容と教材づくり 1	保健分野の学力と教育内容①（宮良、元嶋）	予習：保健分野の指導案を作成してくる。 復習：保健分野の指導案を訂正してくる。
6	保健授業の教育内容と教材づくり 2	保健分野の教育内容と評価規準（宮良、元嶋）	予習：保健分野の指導案を追加・訂正してくる。 復習：保健分野の指導案について教材研究を行う。
7	保健分野の模擬授業 1	「健康な生活と疾病の予防」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業1の評価をレポートする。
8	保健分野の模擬授業 2	「心身の機能の発達と心の健康」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業2の評価をレポートする。
9	保健分野の模擬授業 3	「傷害の防止」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業3の評価をレポートする。
10	保健分野の模擬授業 4	「健康と環境」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業4の評価をレポートする。
11	保健分野の模擬授業 5	「現代社会と健康」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業5の評価をレポートする。
12	保健分野の模擬授業 6	「生涯を通じる健康」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業6の評価をレポートする。
13	保健分野の模擬授業 7	「社会生活と健康」領域の模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業7の評価をレポートする。
14	保健分野の模擬授業 8	ICT 機器（電子黒板等）を積極的に使用した模擬授業とその評価（宮良、田井、元嶋）	予習：模擬授業の担当者は授業の準備をする。 復習：それ以外の受講生は模擬授業8の評価をレポートする。
15	まとめ	模擬授業レポートによる振り返りと確認（宮良、田井、元嶋）	レポートの作成と振り返り。
16	定期試験	筆記試験	試験勉強および対策